

研究要旨（計画表）評価ルーブリック①

| 観点 | 項目 | 要改善（2） | もう一歩（3） | 概ね満足（4） | 十分満足（5） |
|-------------|----------|------------------------------------|--|---|--|
| 知 技 | テーマ設定 | テーマがはっきりせず、研究として成 立するか判断しにくい。 | テーマは抽象的なものにとどまってお り、何を明らかにしたいのかが分かりに くい。 | テーマは概ね明確で研究の方向性が分 かる。 | テーマは具体的で明確である。何を明 らかにしたいのかがはっきり分かる。 |
| | 背景及び動機 | 動機が書かれていない、または内容が テーマと結びついていない。 | 興味・関心は書かれているが、理由が 浅く、研究につながる説明が弱い。 | テーマに関する先行研究はあまり調べ られていないが、テーマにつながる動機 が具体的に書かれている。 | テーマについての先行研究等を調べた 上で、課題が具体的に書かれており、研 究の動機が論理的に説明されている。 |
| 思 判 表 | 研究方法 | 研究方法が示されていない。または、 ほとんど記述されていない。 | 研究方法が示されているが、設定した 課題を解決するのに不十分なものであ る。 | 研究方法が具体的に示されており、課 題を解決するのに十分なものである。 しかし、客観性または再現性を備えた ものであるとは言い難い。 | 研究方法が具体的に示されており、課 題を解決するのに十分なものである。 さらに、客観性と再現性を備えたもの である。 |
| | 今後の課題・展望 | 記述されていない。 | 記述はあるが具体的に示されていない。 また、現時点での研究（計画）を振り返 り、改善すべき点などを明示できていな い。 | 具体的に示されている。また、現時点で の研究を振り返り、改善すべき点などを 明示できている。 | 具体的に示されている。また、現時点で の研究を振り返り、改善すべき点などを 明示できている。さらに、研究をどのよ うに社会に還元できそうかという見通し を持つことができている。 |

課題研究の取組状況 ルーブリック②

| 観点 | 項目 | 要改善（2） | もう一歩（3） | 概ね満足（4） | 十分満足（5） |
|-------------|--------------|------------------------------|--|---|---|
| 主 体 性 | 課題研究時の取 組 | 班での課題研究に参加・協力する姿勢が 見られない。 | 教員や他の生徒の指示を待ち、課題研究 に取り組んでいる。前向きに取り組もう とする姿勢は見られない。 | 教員や他の生徒の指示に従うことは多い ものの、与えられた役割を責任をもっ てこなそうとする前向きな姿勢や行動が見 える。 | 課題研究を発展させるために、班の中で 自ら進んで意見やアイデアを出したり、 他者と協働したりするなど、主体的に課 題研究を進めていこうという姿勢や行動 が見える。 |